

姫路商工会議所

機関名	姫路商工会議所		
所在地	兵庫県姫路市下寺町43		
電話番号	0792-22-6001		
地域概要	(1)管内人口 48万人	(2)管内商店街数 47商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 12商店街	(2)会員数 505商店	
	(3)空店舗率 約6%	(4)大型店空き店舗 0店	
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成12年度 空き店舗対策事業 チャレンジショップ、コミュニティホール
 総事業費 24,676千円

【事業実施内容】

1. 背景

姫路市は、兵庫県の南西部にあり、大阪市中心部から75km、神戸市中心部から約50kmに位置する人口約50万人の中核市である。

歴史的には姫路の中心市街地は、慶長6年池田輝政の姫路城築城により築かれ、姫路藩の城下町として形成された後、西国の宿場町として栄えた。明治22年には市制が施行され、姫路市が誕生する。その後は、鉄道の敷設や幹線道路の整備により、駅周辺には、商業・業務施設が集積した。さらに昭和期に入り、師団司令部がおかれ軍都として栄えたが、第二次世界大戦で2度の空襲を受け焦土化した。



戦後は、戦災復興土地区画整理事業に着手し、大手前通り等が整備され、今日の市街地が整備された。

近年、当市の小売販売額が増加傾向にあるにもかかわらず、中心市街地の小売販売が減少しているが、その背景として郊外に大型店の出店が相次ぎ、顧客が流出したこと、また中心市街地の核となる大型店の出店もなく、商店主の高齢化や後継者難などにより商業の活力が低下した。

中心市街地の通行量も、昭和 50 年（通行量 60 万人）をピークに年々落ち込み、近年は 30 万人程度となっている。対昭和 50 年度比は 50%を割っている。

このような状況のもと、中心市街地の賑わいと魅力ある街づくりを取り戻すことを目的に、商店街空き店舗対策事業を実施した。

2. 事業内容

(1) 事業実施の組織と運営

姫路市商店街連合会の会長を委員長とし、商店街関係者を委員に、県・市をオブザーバーとした空き店舗対策委員会を組織した。

(2) 事業の P R 方法

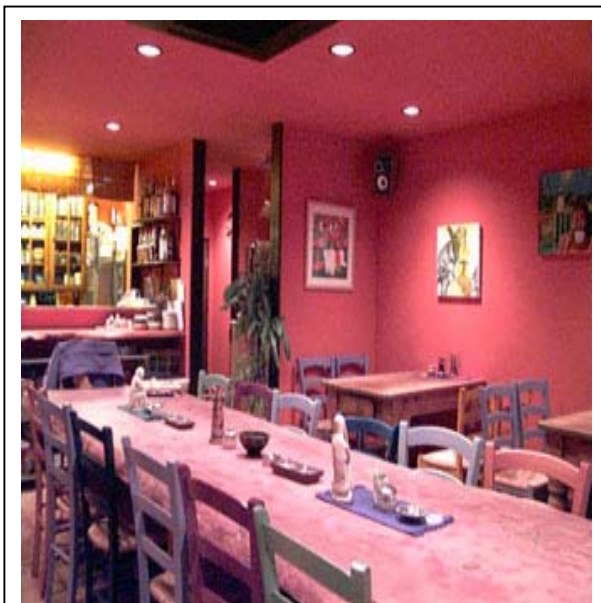
当所の所報、日刊紙、ホームページ等で P R を行った。また、NHK のニュースでも紹介され、近畿を中心に関東からも問合せがあり、広範囲の地域に対する広報ができた。

(3) チャレンジショップ事業

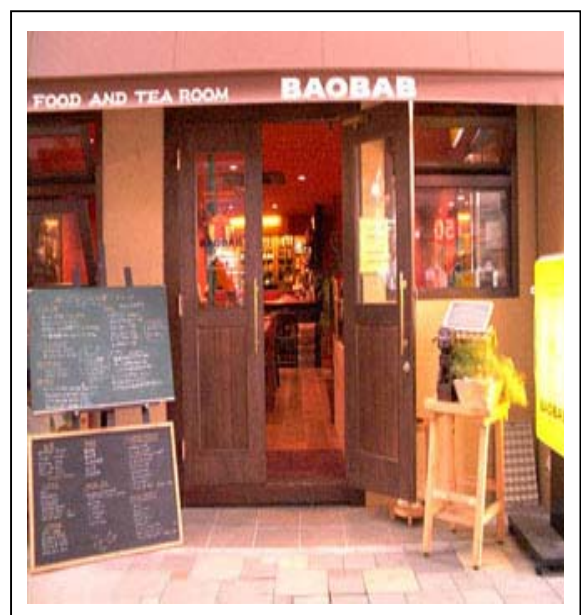
小溝筋商店街と西二階町商店街を中心とした中心市街地全域を対象に商店街空き店舗対策事業を実施し、10 店舗を入居させることができた。

(4) 実験店舗事業

まちづくりステーションを開設し、市民が集まってまちづくりについて意見交換が出来、観光やまちづくりの情報が入手できる場所とした。



雰囲気うまく演出した
チャレンジショップ



【 効 果 】

- (1)小溝筋商店街と西二階町商店街を中心とした中心市街地全域を対象に商店街空き店舗対策事業を実施し、10店舗を入居させることができた。中でも2～3年前から空き店舗が増加し、疲弊の著しかった小溝筋商店街の活性化にも結びついた。
- (2)まちづくりステーションを世界文化遺産・姫路城に近い本町68に設置したことにより、まちづくりやイベント関係者、観光客や市民が集まり、地元住民や商業者のまちづくりに対する機運も高まった。

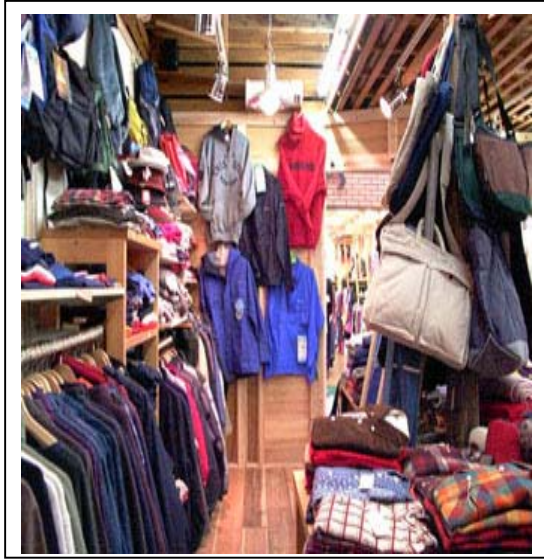
【 課 題 】

今後も当所では空き店舗対策を継続して実施するが、一部の商人の考え方に熱意が感じられず、商業振興は、商工会議所や行政がするものだとの考えもある。もっと、中心市街地に対する危機感を持ち、自分たちの街の活性化に真剣に取り組む姿勢が求められる。

【 関 連 U R L 】

姫路商工会議所

<http://www.himeji-cci.or.jp>



チャレンジショップの様子